

## 高齢者虐待の捉え方



高齢者虐待は突然起こるわけではありません。高齢者虐待が起こる背景にはさまざまな要因があり、段階があります。虐待につながる可能性がある状態にある人を早期に発見し、早期に対応する機会を確保することによって、高齢者虐待を未然に防ぐことに繋がると考えられます。

## このような行為は虐待にあたります！

「虐待」の捉え方は、その人によってばらつきがあることがあります。虐待に対する正しい認識を持ち、客観的事実から虐待状況を捉えることが大切です。少しでも気になることがあれば相談窓口にご連絡ください。

## チェックがいたら、相談窓口に相談しましょう

### 通報・相談窓口

泉佐野市役所高齢介護課

463-1212(代)

泉佐野市社協地域包括支援センター

464-2977

### 身体的虐待が疑われる状況例（1つでもあてはまれば要注意）

指標	チェック
身体に傷が頻繁にみられる	
大腿の内側や上腕部の内側、背中などに傷やミミズバシがみられる	
回復状態や様々な段階の傷、アザなどがある	
傷やアザの説明のつじつまがあわない	
臀部（お尻）や手のひら等に火傷や火傷痕がある	
急に怯えたり、怖がったりする	
主治医や保健、福祉の担当者に話す事や援助を受ける事を躊躇する	

暴力を  
加える



セルフネグレクト（自ら、自分の生命、健康、生活を損なうまま放置している状態である）の高齢者も他の虐待同様に、周囲による支援が必要です。

介護放棄・放任が疑われる状況例（1つでもあてはまれば要注意）	
指標	チェック
居室・住居がきわめて非衛生的になってる（異臭を放っているなど）	
部屋にオムツや汚れた衣服が散乱している	
大きい、あるいは多数のじょくそう（床ずれ）が出来ている	
栄養失調の状態にある（極端に体重が減少してきている）	
症状が明白にもかかわらず、病院への受診をしていない	
同居家族と本人の生活状況に差が大きい	
適切な食事を準備されていない	

世話を  
しない

心理的虐待が疑われる状況例（1つでもあてはまれば要注意）	
指標	チェック
無気力、あきらめ、投げやりな様子がある	
不規則な睡眠を訴える	
かきむしり、かみつき、ゆすり等がみられる	
身体を委縮させる	
怯える、わめく、泣く、叫ぶ等の症状がみられる	
自傷行為がみられる	
高齢者に対し、過度に馴れなれしいなど、敬意が感じられない言葉	
体重が不自然に増えたり、減ったりする	

精神的な  
苦痛を  
与える

性的虐待が疑われる状況例（1つでもあてはまれば要注意）	
指標	チェック
不自然な歩行や座位を保つことが困難になる	
肛門や性器からの出血や傷がみられる	
生殖器の痛み、かゆみを訴える	
急に怯えたり、恐ろしがったりする	
睡眠障害がある	
通常的生活行動に不自然な変化がみられる	
人目を避けるようになり、多くの時間を一人で過ごすことが増える	

性的な  
行為を  
強要する

経済的虐待が疑われる状況例（1つでもあてはまれば要注意）	
指標	チェック
自由に使えるお金がないと訴える	
不自然に介護サービスの利用や受診を嫌がる	
年金額に対して生活状況との落差が大きくなる	
お金がない理由のつじつまがあわない	
預貯金が知らないうちに引き出された、通帳を取られたと訴える	
お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができない	

金銭等  
を勝手に  
使う